



# 秋厚労ニュース

NO1910号

2019年6月26日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

# もっと参加しやすく

## 球技大会 合同総括会議

去る6月8日（土）、球技大会合同総括会議が行われ、16人が参加。来年に向けて活発に意見交換しました。

## 球技大会は合同実行委員会が運営

元々、球技大会は青年部が運営していました。しかし年々仕事が忙しくなり、球技大会の参加者は減少。青年部自身も競技に出ながら運営するようになり、負担が増大しました。そんな中で、大きなケガが続き、球技大会の存続が危ぶまれた時期もありました。



そこで、中央執行委員などの有志が青年部を手伝ったことをきっかけに、2015年から「協力員」体制が始まりました。現在、各種目のルールや全体の運営は、協力員と青年部からなる「合同実行委員会」が行っています。

### バド 必ず2試合できる

### 対戦形式に

少人数で参加する支部も楽しめるよう、毎年工夫を重ねています。

例えばバドミントンは、一昨年の「1回しか試合ができず残念」との感想から、昨年に続き、1ペアが必ず2試合はできるようにしました。

複数競技の掛け持ちをする人が、それぞれの試合に出やすいようにするためです。しかし掛け持ちをしていない人は、約半日、試合がなく、「気力が続かなかつた」という声も。当日のルール変更でバレーの試合が長引いたこともあり、次回への検討課題です。

### 来年に向けたアイデアが続々

### バレーの試合長引く

今年、午前中にバレー、午後にバスケ、フットサル・バドミントンの試合を配置しました。

「ケガ防止のためにも、参加者の負担を減らす工夫が必要」という意見も。

参加しやすい球技大会にするためのアイデアが、続々と出ました。「混合チ

ムを組めることをもっと知らせたい」「ウインターフェスタのように、宣伝方法を工夫してはどうか」「自分の試合が終わっても楽しめる工夫を」など、来年の合同実行委員会です。

## 球技大会の協力員 募集中

☆☆バドミントンの経験者、大歓迎☆☆

青年部と一緒に、球技大会の企画・運営をします。運動が苦手でも大丈夫です。興味のある人は、組合事務所などへご連絡ください。

